

## 第 42 回 添加物 専門調査会 議事要旨 (案)

(ケイ酸塩類部分の抜粋)

< ケイ酸カルシウム及びケイ酸マグネシウムの評価書の取りまとめ方について >

アルミニウムを含有する 2 つのケイ酸塩類については、必要な資料が整理された後に評価を再開することになった。今回、残りのケイ酸カルシウムとケイ酸マグネシウムの 2 品目の評価書として、2 品目を併せたもの、それぞれ分別して整理したものが提出されている。どのように審議を進めるか。

ケイ酸塩類については、生体に入ってから挙動が同じであるとされていること。自然界に非常に多く存在しているものでもあり、ある意味で生体成分の一部とも考えられることから、まとめて整理した方がよいのではないかと。

金属イオンで分別しても、実際には金属イオン以外の塩の形態が毒性に関わってくることもあり得ることから、まとめて議論をして、必要に応じ後で個別に分けるといって進めたらどうか。

最終的に、分別することになるかもしれないが、相当の部分が重複することから、2 品目をまとめて審議し、個々に問題が出てくれば、それについては別途議論する。

< 評価書の審議 >

「 吸収、代謝、尿中排泄 」の記載について、事務局で再度整理すること。代謝関係の先生方と相談しながら整理する。

< 次回の審議について >

「 吸収の機構 」から再度審議を行うこととする。